

日本語能力試験N1 「合格体験記」

日本語と友になれ！

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科1年

タイ サンダー

2021年度の「海外日本語教育機関調査」によると、世界では約379万人が日本語を学んでいます。その学習している皆さんは、就職、昇給・昇格、留学など様々な目的で学んでいます。どんな目的であっても、世界中の日本語学習者は自分の日本語能力レベルを示し、証明するために、日本語能力試験を受験しN1資格を取得する事が最終目的でしょう。

そんな中、日本に在住している留学生の皆さんへ、N1に合格するため、私が勉強してきた方法を共有したいと思います。でも、その前に「自分はN2までの勉強がしっかり身に付いているか?」「今までの日本語能力試験でどの部分が弱いのか?」を今読んでいる皆さんに自己分析・自己反省をしてほしいと思います。自分がN2までの勉強をしっかりとできていたら、「N1に合格するという目的は50%達成できた!」と思ってください。その理由は、N1レベルの試験と言っても、N2レベルの文法、語彙、漢字がたくさん入っているからです。私も「N1に合格するにはN2の知識が必要。」ということ意識してやってきました。

私たちの一日は学校、アルバイトや家事などやるべきことがたくさんあって、日本語を勉強出来る時間は限らおり、そのわずかな時間をどう上手く使うかが大切です。私は、主にスクールバスでの時間に覚えたい単語や文法をメモした付箋紙、携帯アプリやユーチューブの動画で勉強しました。時には、気分転換に好きなアニメを字幕なしで見たり歌を聴いたりして勉強しました。そして、分からない言葉があったら、その意味を日本語で説明するウェブ(web)を活用しました。しかし、インプットだけではいけないと思い、アウトプットができるように日本語で伝えなければならない環境を作ることも大事です。例えば、学校の日本人の先生に自分から進んで話したり、日本人の友達を作ったり、アルバイトで日本人の職員さんと話したりして、一日中日本語を浴びることで、そして、集中力と読むスピードを上げ、試験問題のパターンを知るために、N1能力試験の1か月前からは毎日1時間ほど模擬試験を受けて練習しました。

最後に、皆さんに伝えたいことがあります。「日本語」というのは「学校で学ぶ科目」ではなく、「人と人の心が通じるために必要なツールだ」と思い、日本語と友達になって、愛してほしいです。そうすると、ストレスがたまらず楽しく勉強出来て、自然に日本語が覚えられるようになると思います。皆さん、応援しています!頑張ってください!